

# 平成30年度研修計画

## 1 学校教育目標

**「自分を大切にし、他者も大切に  
する人間の育成」**

**～Be Humane～  
「まじめに楽しく心あわせて」**

- (1) あいさつを大切にする生徒
  - ・あいさつは他社を大切にする第一歩
- (2) 誰からも謙虚に学べる生徒
  - ・謙虚な学びは成長の原動力
- (3) 根気強く取り組む生徒
  - ・今期は人生の宝
- (4) 失敗を恐れずチャレンジする生徒
  - ・失敗は学びの宝庫

### 【目指す学校の姿】

- (1) 生徒にとって 誰もが安心して精いっぱい学び合える学校
- (2) 保護者にとって 信頼して子供を任せられる学校
- (3) 教職員にとって 子供を誇りにできる学校

## 2 校内研修（研究）テーマ

**生徒の頭脳や心がアクティブに働く授業の創造**

～ 「〇〇できるようになった！」の実感を求めて ～  
～ 教科化される道徳を、どう解く？ ～

## 3 研修（研究）テーマ設定の理由

### (1) 次期学習指導要領の観点から

平成33年度から全面実施予定の次期学習指導要領では、情報化やグローバル化が進み、ますます予測困難な時代に生きる子供たち一人一人を、未来の造り手に育てることが求められている。「主体的、対話的で深い学び」の必要性が叫ばれ、学校の授業においては、「教師が何を教えるか」という観点からの授業ではなく、「生徒が学ぶことを通して何ができるようになるか」を中心に据えた授業への改革が、最大の課題となっている。

次期学習指導要領のキーワードのひとつとして盛り込まれている「アクティブラーニング」は、一般的には、ディスカッションやディベートなど、学習者が課題に対して自ら主体的に意見交換などをしながら取り組むことで、より深い学びへと進んでいくこと、のように言われている。しかし、「アクティブラーニング」で肝心なところは、学習中に学習者の頭脳や心が課題に対して活発に働くことであって、単に学習形態の模倣に終わってはならない。そこには、教師によって綿密に計画された「適切な課題」が必須となる。

まだ十分な知識を持たない生徒達には、基礎基本の定着を図ることはとても重要である。そのため、毎回の授業で「主体的、対話的で深い学び」を求めることには無理がある。しかし、少な

くとも章や単元の終末わりには、生徒の頭脳や心がアクティブに働く授業を展開し、「〇〇できるようになった！」を実感させたいものであると考える。

また、来年度から導入される「道徳の教科化」に対する準備が必要であると考え。道徳の実践はもちろん、「評価」という問題にそなえた様々な記録の蓄積、文章力に欠ける生徒に対する適切な評価の方法など、様々な工夫が求められる。この一年を準備期間として道徳に取り組んでいく必要があるかと思われる。

昨年度まで4年間、本校は文部科学省指定「外国語教育強化地域拠点事業」の拠点校であった。そのため本年度も、市内外からの注目を集めることになるであろうと予測される。英語科は引き続き、CAN-DO リストに掲げた目標を一人一人の生徒に達成させるための授業研究を継続していく。また、全ての職員が英語に対して関心を持ち、「英語を使おう」という姿勢を持ち続ける必要がある。本校独自の取り組みである English Day の質的向上を図っていくべきである。

## (2) 学校教育目標の具現化に関して

「自分を大切に、他者も大切にする人間の育成」をしていくためには、どのような教育活動が求められるのだろうか。グローバルかつユニバーサルな社会へと変貌していく現代社会において、誰もが自分の能力を十分に発揮し、他者と共生を図りながら自己実現することができるようになることが求められている。そのためには、授業や学校生活全般の中で、生徒が自尊感情（自己肯定感）を持ち、「誇り」や「自信」の獲得につながる教育活動の実践が大切かと思われる。

自尊感情を高めるための取り組みは、これまでも行われており、アンケートによる調査も繰り返し行われてきている。生徒がアクティブに学び、〇〇ができるようになった、と実感することは、自尊感情の高揚に直結する。また、その過程には、温かな仲間づくりを進めたうえで出来上がった小集団の中での関わり合いが必要になる。

## (3) 全国学力状況調査の結果ら課題

全国学力状況調査の生徒質問紙調査から、以下の4つの課題が明らかになっている。

- ① 計画的な家庭学習の定着率がやや低めである。
- ② 授業の最後での学習の振り返りを、もう少し徹底するべきである。
- ③ 記述式の問題に対する正答率が、やや低い。
- ④ 「資料の活用」の時間が、十分に確保されているか。

これらの課題の中には、「自尊感情の高揚」や「生徒の頭脳や心がアクティブに働く授業の創造」等に対してのヒントがあるように思われる。

## (4) 研究の仮説

教師が同僚性を生かしながら「生徒が食いつく課題」を模索し、適切な方法で提示することによって、授業は生徒の頭脳や心がアクティブに働く場に、また「〇〇できるようになった！」を実感する場になるであろう。

- ・目標から、これからの授業の計画をする。(バックワード・デザイン)

年間計画を見直す。



単元ごとに、「この単元の学習がおわった時には、〇〇ができるようになる」ということを明示する。(CAN-DO?)



単元のまとめの授業で、どんな課題でどのように活動させたら、生徒が「〇〇できるようになった！」と実感するのか、計画する。



その授業を実践するためには、どのような知識や活動が必要になるのか考え、単元のはじめから授業を積み重ねていく。

#### 4 校内研究授業の進め方について

##### (1) 道徳の校内研究会（講師招聘）

各学年1名の展開。ただし、その1名が展開する授業は、前もって全ての担任が各クラスで授業を行う。副担任もその指導案作成に積極的に関わる。各学年の研修担当、道徳担当を中心に計画的な準備を進める。（各学年2学期）

##### (2) 英語の校内研究会

英語科全員が展開。時期は未定だが、市内（近隣地域）の各校には、委員会より案内状が送付される予定。

#### 5 日々の研修について

##### ① 年間指導計画に「单元ごとのCAN-DO」を記載する。

3（4）でも述べた通り、年間指導計画の見直しをお願いいたします。英語科ではCAN-DOリスト（各学年末までに何をできるようにするか、を明示したもの）をもとにして、各単元のCAN-DOを年間指導計画に明示しています。参考にしてください。各単元で「〇〇することができるようになる。」という表現で年間指導計画では明示できるように、各教科部会で検討を重ねてほしいと思います。

（過去の年間指導計画は share → 10研修 → 212年間指導計画 から参考に見てください。）

##### ② 単元の終末の授業で「何をできるようにするか」を意識し、日々の授業を組み立てていく。

これも3（4）で述べた通りです。平成33年度には、当たり前になっているはずのことですので、個人、教科部会で積み重ねてほしいと思います。

##### ③ 生活記録ノートに、「今日の家庭学習の予定」を記入させ、点検する。

全国学力状況調査で、家庭学習の定着率が低いことが明らかになっています。生活記録に家での学習予定を記入させることで、意識付けが図れるのではないのでしょうか。ひいては、試験前の学習計画書の提出が、必要なくなるかもしれません。

##### ④ 適量かつ継続的な家庭学習課題を。

##### ⑤ 毎時間、「授業の振り返り」を丁寧に行う。

これも全国学力状況調査からの指摘です。授業の終わりに簡潔な板書を残すなど、「今日の授業では、～について勉強しました。要点としては○や△や☆がありましたね。」とか「今日の内容がどれくらいわかったか、最後にこんな問題をやってみましょう。」など、「振り返り」の方法はさまざまあるかと思いますが、日々の授業での積み重ねをお願いいたします。

##### ⑥ 道徳の授業での生徒の記録を残す。日々の行動観察を記録する。

教科となれば評価がつきもので、評価のためには評価するための材料、資料等が必要になります。来年度、道徳の教科書が使われるようになると、それにあった「道徳ノート」のようなものも使われるのですが、今年度はそれがありません。道徳ファイルなどが必要になるのではないのでしょうか、ロールプレイを記録した映像、行動観察の記録など、評価に有効と思われるものを積み重ねていき、道徳をどう解くか？についての考察を深めていきましょう。

## 6 年間計画

4月	運営委員会 職員会議 教科部会  学年会  第1回 English Day	平成30年度研修の方向性の検討 平成30年度研修計画案 教科の努力目標、教科の年間指導計画作成（確認） 当面の章、単元での「適切な課題」の計画 教科の進捗表の確認、評価・評定について 総合的な学習の時間の年間指導計画作成 学年PC担当者の決定
5月	第2回 English Day 道徳の進捗確認（月末）	
6月	第3回 English Day 道徳の進捗確認（月末）	
7月	第4回 English Day 教科部会 道徳の進捗確認（学期末） 小中合同研修会(7/ )	年間指導計画の検討  小学校の先生方と合同研修
8月	自主研修（各自）	
9月	教科部会(9/ ) 第5回 English Day 道徳の進捗確認（月末）	2学期の努力点の確認。
10月	第6回 English Day 道徳の進捗確認（月末）	
11月	第7回 English Day 道徳の進捗確認（月末）	
12月	第8回 English Day 教科部会（12/ ） 道徳の進捗確認（学期末）	評価・評定確認及び進捗確認、2学期の反省 2学期の反省と3学期以降の研修内容の検討 年間指導計画検討、指導案検討
1月	教科部会(1/ ) 第9回 English Day 道徳の進捗確認（月末）	3学期の努力点の確認。
2月	教科・領域部会 第10回 English Day 道徳の進捗確認（月末）	評価・評定確認及び進捗確認、研修のまとめ 年間計画の見直し・平成31年度年間計画作成
3月	第11回 English Day 道徳の進捗確認（年度末）	